

# 5年 MIE ( Mathematics In English)

## 学習目標

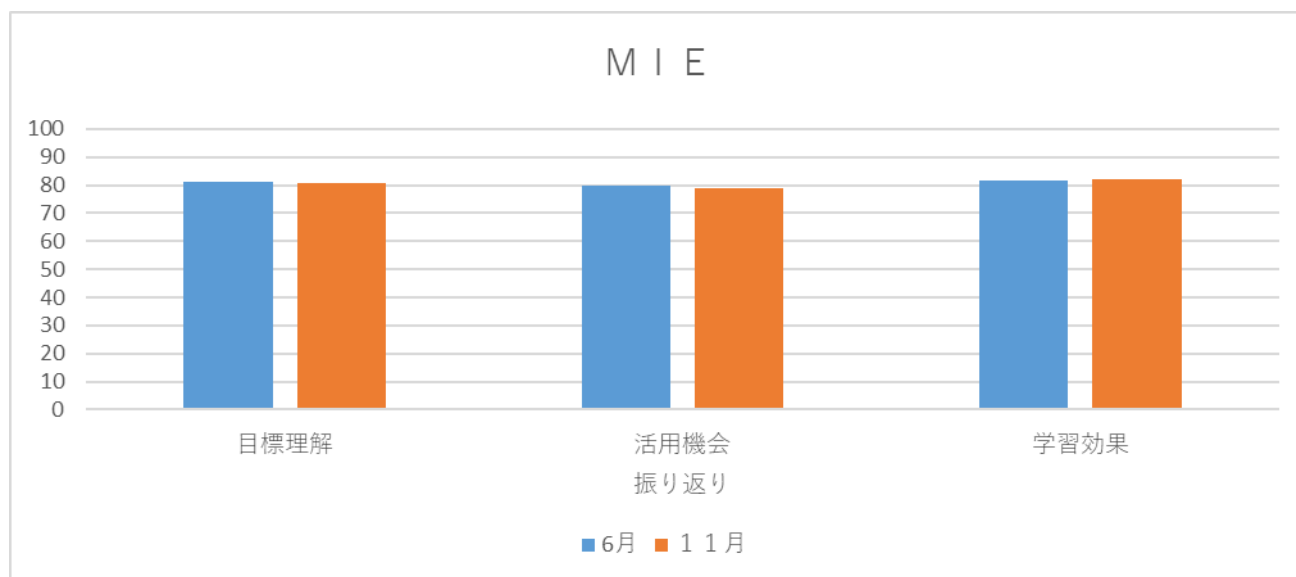
英語で書かれた文章や数学用語に親しむ。  
英語で書かれた数学の問題を自分自身で読み取り、解けるようになる。

## 学習内容

	Concrete learning reaching objective	Learning contents
1st	英語で書かれた基本的な数学表現を学び、標準的な問題を読み取り、解けるようになる。	基本的な数学用語 代数
2nd	一学期に学んだことを利用し、高校段階の数学（統計・集合・確率）の問題を解いたり、解法を英語で説明したりできるようになる。	集合 確率 統計
3rd	数学の問題の解法や証明を英語で発表できるようになる。	英語で発表

## 生徒による授業評価

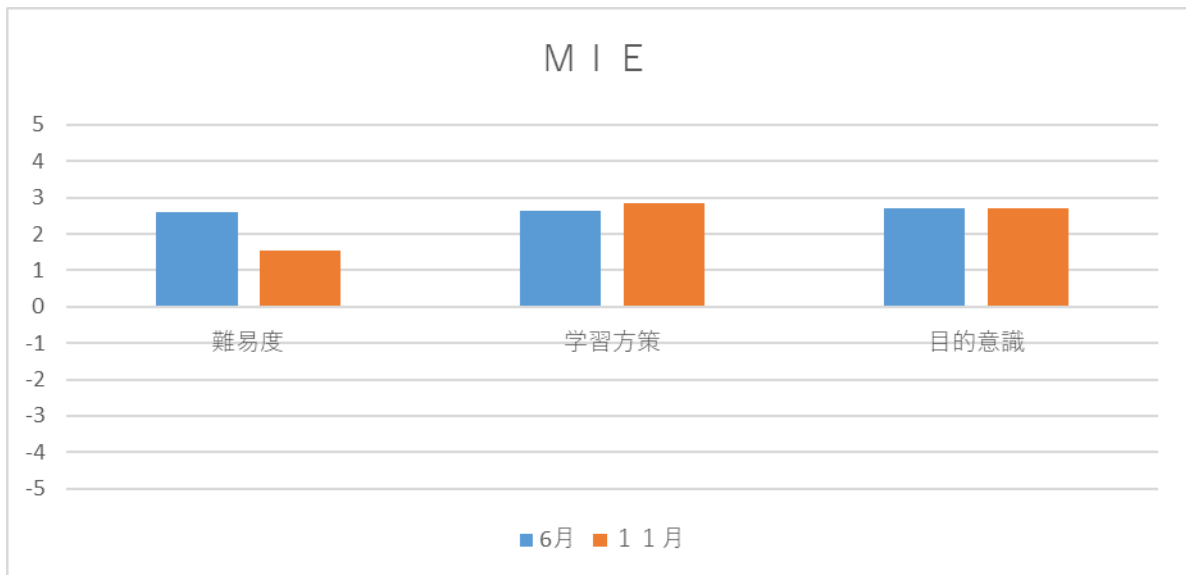
6月と11月に実施した生徒による授業評価の結果は以下の通りである。6月と11月の難易度についての回答を比較すると、1学期は難易度が高い感じていた生徒も、MIEの授業を受けていくにつれて、当初感じていた難しさを克服している様子が見られる。また、それらとともに学び方や取り組み方が身についたと感じてる生徒が増えていることがわかる。



※目標理解は「学習目標や授業への取り組み方ははっきり示されているか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※活用機会は「習ったことをもとに考える機会が、課題などで整っているか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※学習効果は「授業を通し、学力や技能の向上、自分の進歩が実感できるか」という質問に対して「非常によく当てはまる（5ポイント）」から「当てはまらない（1ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。



※難易度は「授業内容や課題の難易度はあなたにとって」という質問に対して「難しすぎる（10ポイント）」から「易しすぎる（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※学習方策は「この科目の学び方や取り組み方が身についたと思うか」という質問に対して「とてもそう思う（10ポイント）」から「まったくない（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。

※目的意識は「自分なりの課題や目的を持って日々の授業に臨んでいるか」をいう質問に対して「とてもそう思う（10ポイント）」から「まったくない（-10ポイント）」までを5段階で評価し、数値化したものである。